

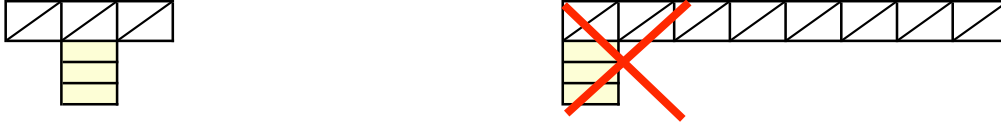
荷受フォームの使用上のお願い

株式会社 **KKL**

〒151-0053 東京都 渋谷区 代々木1-36-1
TEL 03-3379-6011(代) FAX 03-3379-0084

● 荷受フォームの両端と中間の必要スパン数について

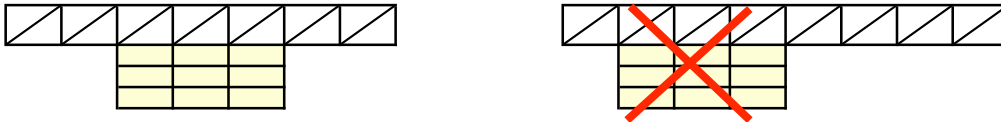
1. 1スパン用を設置する場合は、左右に1スパン(1829mm)が必要です。



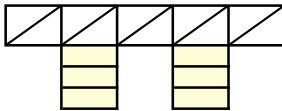
2. 2スパン用を設置する場合は、左右に1スパン(1829mm)が必要です。



3. 3スパン用を設置する場合は、左右に2スパン(1829mm)が必要です。



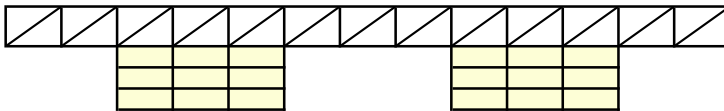
4. 1スパン用を複数設置する場合は、間に1スパン(1829mm)が必要です。



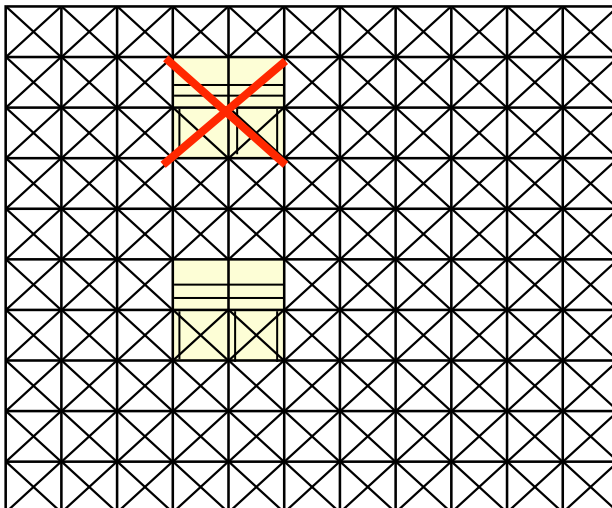
5. 2スパン用を複数設置する場合は、間に2スパン(1829mm)が必要です。



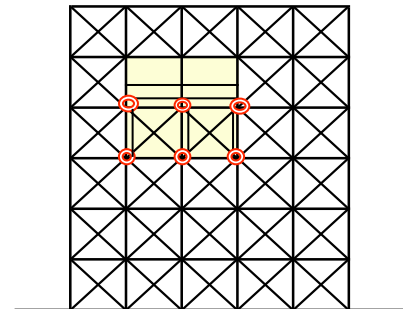
6. 3スパン用を複数設置する場合は、間に3スパン(1829mm)が必要です。



7. 同ースパン内に同時に複数設置は禁止です。



8. 追加壁つなぎ取付け位置(2スパン用の例)



通常の壁つなぎとは別に
追加して設置して下さい

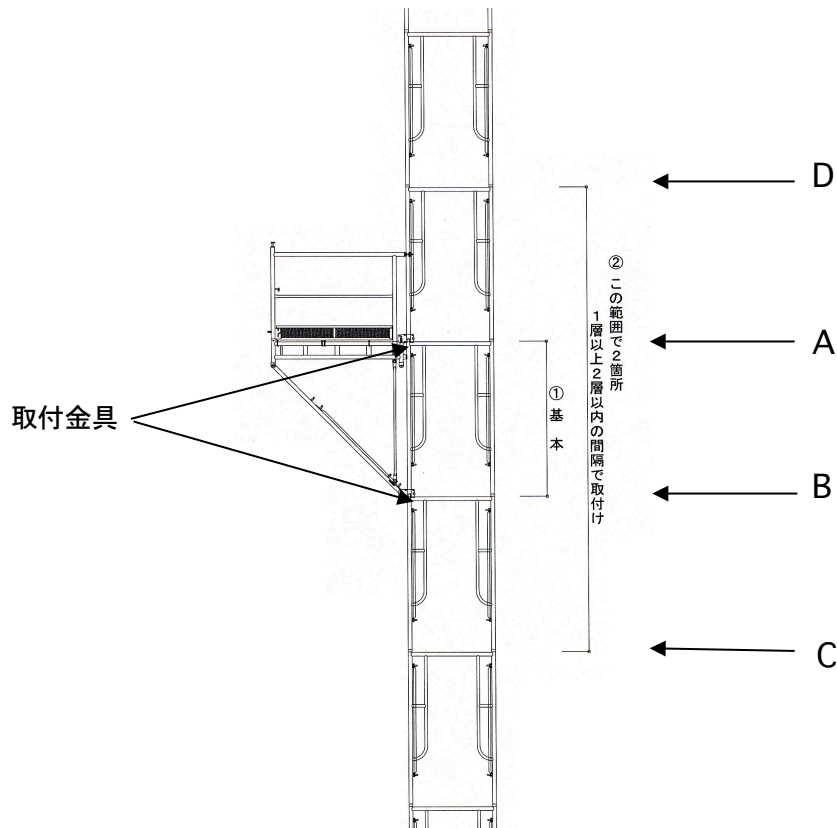
● 荷受フォームの許容荷重について

(kg/スパン)

1219巾の建枠		914巾の建枠		610巾の建枠	
足場全層数	最大積載荷重	足場全層数	最大積載荷重	足場全層数	最大積載荷重
2～13 層	750	2～11 層	750	2～10 層	500
14～20 層	600	12～20 層	600	11～23 層	400
21～26 層	450	21～26 層	500	24～26 層	300

- ※ 荷受フォームを何層目に設置するかは関係ありません。
- ※ 布板は仮設工業会認定品を使用して下さい。
- ※ 積載は集中荷重にならないように、なるべく均等に載荷して下さい。
- ※ 個々の布板の許容荷重を超えない様にして下さい。

● 壁つなぎ取付け間隔について



- ① 荷受フォームを取付ける建枠には、その取付金具の取付け箇所と同一レベル(床面と斜材の突き当たり部分)の取付スパン全てに(1829ピッチに)、必ず壁つなぎを取付ける事を基本とする。 AとB
- ② 開口部などにより前項の位置に壁つなぎが設置できない場合は、前項の位置に隣接する上下1層以内の範囲において、上下2カ所の壁つなぎを1層以上2層以下の距離で取付けるものとする。 AとCまたは DとB

いずれの場合もスパン方向の壁つなぎ間隔は、荷受フォームを取付けたスパン全てに設置するものとする。